長崎大学病院
シミュレーションセンター

× KYOTO KAGAKU

看護基礎教育・現任教育に携わる皆さまへ

基礎教育と現任教育、二つの現場から考える。

学びをデザインし、現場に根付かせる看護シミュレーション教育の最前線

シミュレーションを実施するだけで終わらせず、学習者の成長につなげ、組織の文化として根付かせるには何が必要なのでしょうか。本セミナーでは、基礎教育と現任教育の実践者を迎え、教授設計、症例開発、心理的安全性、デブリーフィング、組織づくりを具体的な事例とともに学びます。これからシミュレーションを取り入れたい方、シミュレーションにお悩みの方に、ぜひこのセミナーをご活用ください。

SESSION 1 基礎教育



基礎教育におけるシミュレーション教育の最前線

四天王寺大学 准教授
吉川 有葵 先生

教授設計／初学者向け症例開発／OSCE
大人数授業／心理的安全性／実践事例

SESSION 2 現任教育



臨床現場におけるシミュレーション教育と心理的安全性

神戸市立西神戸医療センター
瀧澤 紘輝 先生

現任教育／プログラム設計
心理的安全性／デブリーフィング／学習風土

開催日 2027年2月7日（日） 10:30〜16:00 （受付開始 10:00） 開催方法：対面式

会場 長崎大学病院 シミュレーションセンター
郵便番号 852-8501 長崎市坂本1-7-1

定員 30名 参加費 5,000円（当日ご持参ください） 昼食は各自ご持参ください（院内にコンビニもございます）

対象者 シミュレーション教育に関心のある医療従事者／看護系大学・専門学校の教員／医療機関の教育担当者／看護管理者



お申し込みは裏面のQRコード・URLから

申込締切：2027年1月31日（日）

詳細は裏面をご覧ください →

共催：長崎大学病院 シミュレーションセンター／株式会社京都科学

KYOTO KAGAKU × 長崎大学病院 シミュレーションセンター

SEMINAR OVERVIEW

セミナー概要

看護系大学・専門学校における基礎教育と、医療機関における現任教育の両面から、シミュレーション教育の設計・実践・定着を学ぶ専門セミナーです。教授設計、症例開発、心理的安全性、デブリーフィング、組織づくりを、二つの現場の具体例から学びます。看護基礎教育と現任教育の橋渡しとなる教育のあり方について、参加者とともに考えていきます。

参加によって得られること

01 学習目標に合ったシミュレーション設計
02 初学者に適した症例の作り方
03 心理的安全性を守る声かけとデブリーフィング
04 教育を組織に定着させる考え方

各セッションの目的と主な内容

基礎教育

教授設計・症例開発・学習者支援の実践

目的
基礎教育への導入ポイントと、初学者が主体的に学べる授業設計を理解する。

主な内容
シミュレーションの位置づけ／初学者向け症例開発／ノンテクニカルスキル／OSCE／大人数授業／心理的安全性／実践事例

現任教育

心理的安全性と、組織で学びを根付かせる実践

目的
臨床現場で実施できる運用方法と、学びを継続させる仕組みを理解する。

主な内容
現任教育の役割／プログラム設計／心理的安全性／声かけ・質問／デブリーフィング／組織文化と学習風土／実践事例

当日のタイムスケジュール

10:00	受付開始
10:30	オリエンテーション
10:40	**セッション1 基礎教育**
12:00〜13:00	昼食休憩
13:00	**セッション2 現任教育**
14:00	**合同セッション**
16:00	質疑・まとめ／終了

講師プロフィール



四天王寺大学 准教授
吉川 有葵 先生
看護教員歴16年目、成人看護学教育を専門とし、主体的な学びを促す教育を実践。シミュレーション教育を活用し、卒業後の実践につながる力の育成を目指しておられます。



神戸市立西神戸医療センター
瀧澤 紘輝 先生
当センター勤務。救急看護認定看護師として活躍。救急看護を基盤に、臨床教育・シミュレーション教育にも注力しておられます。

お申し込み

QRコードまたは申込URLからお申し込みください。
申込締切：2027年1月31日（日）

https://forms.gle/CTHffx87ek4a2vai7

共催：長崎大学病院 シミュレーションセンター
株式会社京都科学

お問い合わせ　担当：中山
095-819-7346（内線2922）
tatsuhiko@nagasaki-u.ac.jp

※内容・時間は変更になる場合があります。